



11月の園だより

令和7年11月1日
目黒区立八雲保育園 園長

～食欲と食育の秋…本番～

園内に咲く金木犀の香りが冷たい秋の風にやわらかさを感じさせてくれます。

この季節は運動会や芋ほり遠足と子どもたちが楽しみにしている活動が続きます。今年はそれに新たな活動で焼き芋パーティーが加わりました。4、5歳児が掘ってきた芋をより美味しく楽しく子どもたちに食べて欲しいという職員の思いから計画されました。始めは3、4、5歳児がそれぞれに芋を洗って、ホイルに包んで…。とていましてが次第に最初に進めていた5歳児が「優しく洗わないとだめなんだよね」「あっ！その巻き方なら僕分かるよ、教えてあげる」「ぎゅっと握ると空気が入らないんだって」と自然な流れで年下の友達に関わっていました。その後、焼き上がりを楽しみにおやつ時間を迎えると部屋中に良い香りがしてきました。栄養士が焼き芋屋風にオープンキッチンで目の前で切り分け、「温かいままで食べられるように」と紙に包んでくれます。自分たちが洗った芋を食べ始めた3歳児からは「皮も食べていいの？」と大事そうに扱う姿がありました。「今日は特別におかわり自由です」と栄養士が話すと「えっ、じゃ大きいのちょうだい」「これで3個目だ」「私が洗ったお芋かな」とお昼ご飯をしっかりと食べた後とは思えないほどの食欲で、笑顔いっぱいの子どもの前から次々と芋が無くなっていきました。まさに「食欲と食育の秋」を楽しんだ一日でした。

先月の運動会には雨天にも拘らず、たくさんの皆様にご参加をいただきありがとうございました。今後も子どもたちの日常を感じていただける機会をつくっていききたいと思います。

11月の行事予定

いも汁会（3・4・5歳児）
歯科検診（全園児）
交通安全教室（3・4・5歳児）
身体計測 避難訓練

12月の行事予定

わくわく発表会（3・4・5歳児）
身体計測 避難訓練

副園長のやくもニュース

ぐんぐん大きくなっているね

めだか組（0歳児クラス）



今は珍しい写真のフィルムケースを使った玩具は、周りにカラフルなテープを巻いてあります。ある日棚上に並べてあるのを掴もうとしてうまく取れず、遠くまで転がって行ってしまいました。「あららら」と保育士がいうと、ちょっと曇った顔が一転「キャハハ」と大笑い。コロコロ転がるのはもちろん“あららら”が楽しいフレーズのように、次はわざと手で払って落とし、保育士の口をまねて「あ」の口をしてからまた大笑い。まだ人差し指で“いち”はできないけど、いたずらっぽい視線で「もういっかい」を知らせてくれます。偶然から始まった楽しい遊びを繰り返し楽しんでいます。崩す、転がすだけでなく、最近は並べたり積む面白さにも気づきました。「できた」を知らせる表情に“もう赤ちゃんではないぞ！”という小さな意気込みを感じます。



楽しかった運動会 実はね…



ぺんぎん組（3歳児クラス）

モグモグモグ パワーチャージして出発だ

運動会では腕にダンゴムシのご飯に見立てたポンポンを付けて元気いっぱい冒険に出発しました。練習の時から「この黄色の餌おいしんだよね〜」「これはパイナップル味」「こっちはブルーベリーなんだ」と食べる真似をしながら友達と楽しそうにやりとりする様子がありました。

当日、初めての場所でお父さんお母さんに見守られる中、ドキドキの緊張もありましたが、自分から勇気を出して冒険に出発していました。ダンスの振り付けの“モグモグモグ”の動きは子どもたちが一番のお気に入りの箇所で、まるで本物のダンゴムシになりきって食べているようでした。運動会後も、黄色と青色のポンポンをミックスして付けてみたり友達同士食べさせ合ったり、さらにイメージを広げながらノリノリで踊っていました。

いるか組（4歳児クラス）

憧れから挑戦へ

クラスで鉄棒の練習をしている時に、しろくま組が鉄棒を披露してくれたことがありました。手を離してぶら下がるコウモリの技をいとも簡単にやる姿を見て、口をあんぐり開けてただただ見ていたいるか組。しろくま組の姿がとても印象に残ったようで「やってみたい」という憧れと「できないかも…」という不安の狭間で揺れ動く気持ちが何日も続きました。保育士に手伝ってもらいながら鉄棒をしていたある日「先生、手伝いなしてやってみたい」という声。保育士もドキドキでしたが、やってみると何と大成功。それからクラスの中で挑戦する友達が増えていきました。それが当日の鉄棒で手を離す技に繋がっていたのです。年上の姿を見て挑戦し、できた喜びは自信へと繋がります。これからも子どもたちのやってみたい、挑戦したい気持ちを大切に、できた喜びをたくさん味わえるように関わっていきたいと思います。



しろくま組（5歳児クラス）

見よ!しろくま組の底力

布体操の最後を彩る、色とりどりのチェック模様。ゆっくりと布を編み込んでいくこの技は、子どもたちが大好きな技であり自信を持って取り組んできたものです。当日はあいにくの雨となり、体育館という初めての場所。フィナーレが近付き盛り上がる中「ん？どこの線に立つの？」と立ち位置に迷う場面が…。子どもたちにも、そして保育士にも緊張が走りました。「もしかしたら曲の中におさめるのは難しいかもしれない…」と不安がよぎる中、そっと立ち位置を知らせると「あ、ここか!」と気付いた子どもたち。本来ならゆっくりと技の準備をする場面をスピーディーに動き、みんなで力を合わせ見事にチェック模様を編み上げました。演技を終えた後の「やりきった」という満足そうな表情はとても頼もしく、最後まで諦めない大切さを改めて感じさせてくれる運動会となりました。